

1. 件名：1号機及び2号機非常用ガス処理系配管の一部撤去作業の進捗状況に係る面談

2. 日時：令和4年4月20日（水）13時30分～14時30分

3. 場所：原子力規制庁 6階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

澁谷企画調査官、星主任研究調査官、正岡管理官補佐、佐藤管理官補佐、大辻室長補佐、木原室長補佐、佐藤室長補佐、横山係長、久川係員、高木技術参与

福島第一原子力規制事務所

高松専門職（TV会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー（TV会議システムによる出席）

敷地全般監理・対応プログラム部 担当者1名

1～6号機械設備G 担当者3名

1～4号周辺屋外対応PJG 担当者2名

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、切断機器（ワイヤーソー）の不具合等により中断している1号機及び2号機非常用ガス処理系（以下「SGTS」という。）配管の一部撤去作業の状況について、資料に基づき説明があった。

○東京電力の説明に対して、原子力規制庁から以下の点を指摘した。

- 配管内の発泡ウレタンの充填に時間の経過により隙間が発生していると判明した場合の対応方針を検討すること。
- ウレタンの状態変化を確認するためのウレタン注入済み配管は、実環境を踏まえた状態で保管すること。
- ワイヤーソーの噛み込み事象等の要因検討を踏まえて計画しているモックアップ等について、その適切性を十分に検討評価し、万全な対策をとること。
- SGTS配管切断部にズレが生じていることから、地震等により当該配管等の転倒や落下が起こらないよう、早急にサポートの追加や固縛等の対策を講じること。

○原子力規制庁からの指摘に対して、東京電力から了解した旨の回答があった。

6. 資料

- 1F-1/2号機SGTS配管一部撤去の状況について

以上